

ががわしま



議会だより

9月定例会

No.98

平成24年11月26日

9月定例会審議結果

委員会の動き

所管事務調査

一般質問 町の考えを問う



町制施行40周年記念式典

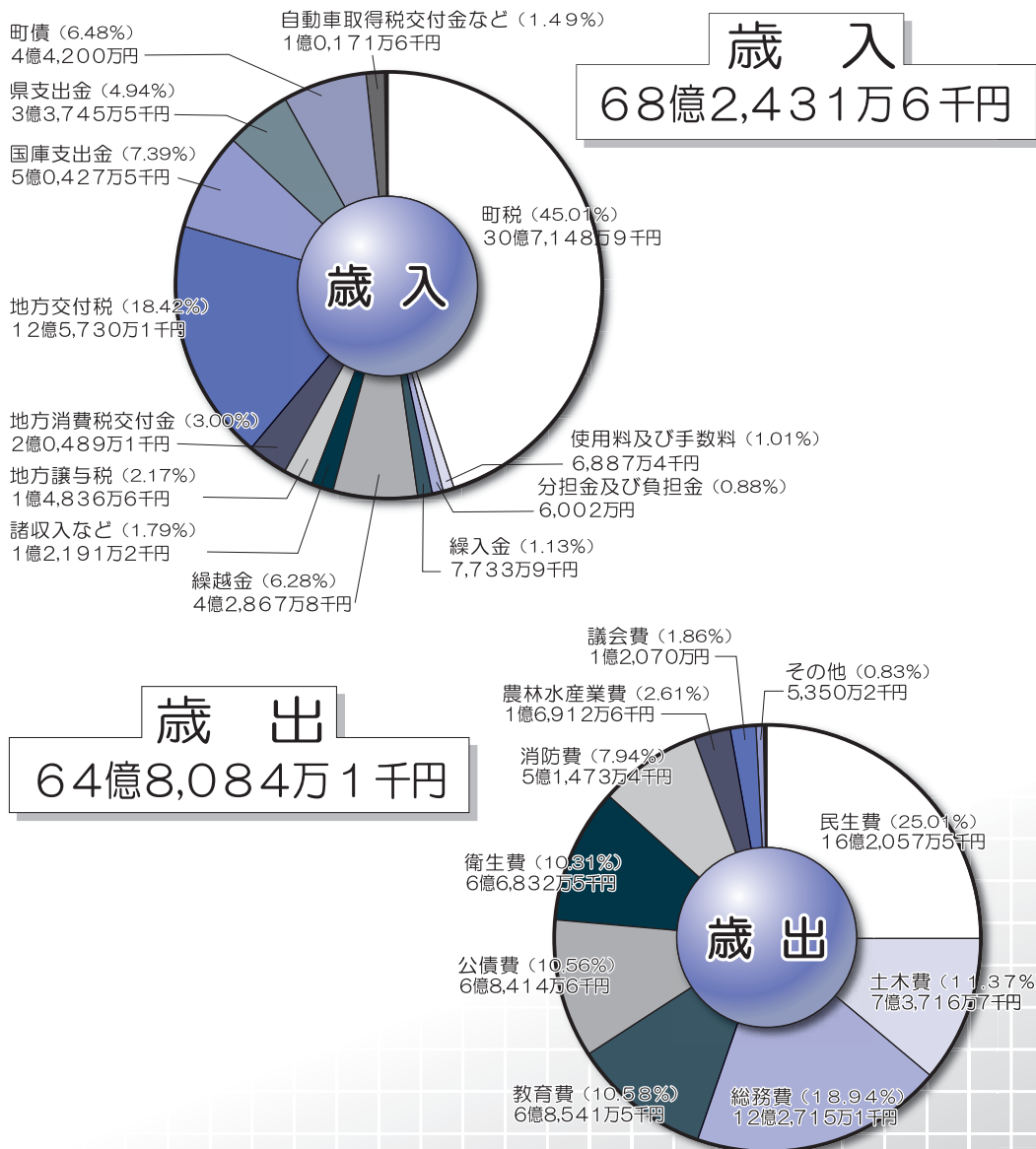
総額 64 億円

決算 7 会計を認定

9月の議会定例会が、9月5日から9月19日までの会期 15 日間で行われました。この議会では、平成 23 年度一般会計歳入歳出決算など 15 議案が審議され、全て原案可決されました。

また、一般質問には5人が登壇し、活発な議論が展開されました。主な内容は次のとおりです。

平成23年度 一般会計歳入・歳出決算



一般会計決算など

15 議案を審議

一般会計決算

平成23年度

一般会計（町民一人当たり：29万5,040円）



人件費
6万2,485円
(総額：13億7,254万9千円)



普通建設事業費
3万0,837円
(総額：6億7,737万6千円)



物件費
4万9,928円
(総額：10億9,671万3千円)



繰出金
3万4,218円
(総額：7億5,165万2千円)



補助費等
3万1,453円
(総額：6億9,090万3千円)



扶助費
3万3,705円
(総額：7億4,036万9千円)



積立金
1万7,139円
(総額：3億7,647万7千円)



維持補修費
4,127円
(総額：9,065万6千円)



公債費
3万1,146円
(総額：6億8,414万6千円)

町人口 21,966人（平成24年4月1日現在）

平成23年度 特別・企業会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険特別会計	25億0,341万6千円	24億2,421万4千円	7,920万2千円
学校給食費特別会計	8,859万2千円	8,831万5千円	27万7千円
下水道事業特別会計	6億0,614万4千円	5億9,364万6千円	1,249万8千円
介護保険特別会計	13億3,245万0千円	12億8,777万4千円	4,467万6千円
後期高齢者医療特別会計	1億4,493万3千円	1億4,162万0千円	331万3千円
合 計	46億7,553万5千円	45億3,556万9千円	—————
水道事業会計	事業収益	事業費用	純利益
	4億7,025万6千円	5億0,271万5千円	▲3,245万9千円
	資本的収益	資本的支出	収支差引額
1,117万3千円	1億0,220万4千円	▲9,103万1千円	

*水道事業会計の収入不足については、損益勘定留保資金などにより補っています。

平成24年 9月定例会議案審議結果

議案番号	議案名 議案内容	採決結果
議案第43号	平成24年度川島町一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億5,135万9千円を追加し、総額を65億55万9千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第44号	平成24年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,800万1千円を追加し、総額を25億8,453万4千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第45号	平成24年度川島町下水道事業特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ286万5千円を追加し、総額を7億86万5千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第46号	平成24年度川島町介護保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,294万5千円を追加し、総額を13億8,794万5千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第47号	平成24年度川島町水道事業会計補正予算（第1号） 収益的支出を239万2千円増額し、5億2,015万5千円とし、資本的支出を81万5千円増額し1億6,790万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第48号	平成23年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について 歳入総額68億2,431万5,591円、歳出総額64億8,084万856円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第49号	平成23年度川島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額25億341万5,642円、歳出総額24億2,421万3,546円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第50号	平成23年度川島町学校給食費特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額8,859万2,211円、歳出総額8,831万5,314円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第51号	平成23年度川島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額6億614万3,722円、歳出総額5億9,364万6,257円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第52号	平成23年度川島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額13億3,244万9,519円、歳出総額12億8,777万4,232円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第53号	平成23年度川島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額1億4,493万2,888円、歳出総額1億4,161万9,996円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第54号	平成23年度川島町水道事業会計決算認定について 収益的収入を4億7,025万6,318円、収益的支出を5億271万4,503円。資本的支出を1億220万4,323円として認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第55号	工事請負契約の締結について（飯島3号雨水幹線工事12-1工区） 飯島3号雨水幹線工事12-1工区について株式会社 島村工業と工事請負契約を締結するものです。	全員賛成 原案可決
議案第56号	教育委員会委員の任命について 教育委員会委員長島常雄氏の任期は平成24年9月30日で満了となるため、後任として深谷邦彦氏を任命するものです。	全員賛成 原案同意
議案第57号	教育委員会委員の任命について 教育委員会委員小島小百合氏の任期は平成24年9月30日で満了となるため、後任として大野美寿代氏を任命するものです。	全員賛成 原案同意

長楽用水路整備工事を県の事業で継続

川まるごと再生プロジェクト

●平成24年度川島町一般会計補正予算について

問 産業団地の中で償却資産の多い会社はどこか。

答 食料品製造業など機械設備等を多く所有している会社です。

問 消費生活センターが25年1月に開設されるがその内容は。

答 週4回東松山市が中心となり、川島、吉見、滑川が合同で東松山市に設置していただく計画です。



整備された長楽用水

問 農地費で工事請負費の更正減の内容は。

答 長楽用水路の整備工事が県の事業に採択され、県が工事を施工することになったものです。

問 新庁舎建設基金、公共施設整備基金を積み立てる必要性は。

答 翌年以降交付税算入される臨時財政対策債を借入し、積み立てたものです。

●平成24年度川島町水道事業会計補正予算について

問 水道料金は近隣市町と比較してどうか。

答 近隣と比較しても低価で設定されています。

●平成23年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について

問 青パトの巡回防犯啓発活動を全地域に実施していただきたい。

答 青パトの運転許可に必要な研修会を警察署に依頼し、町内全域で実施できるよう指導してまいります。

問 土木費の不用額が多額な理由は。

答 河川費では出水期の関係で土木工期間が10月から3月までとなっており、工事制限があることと、土木費は緊急工事等に対応する必要性があり、ある程度の予算残を常に確保しています。

問 埼玉中部農業共済組合負担金の内容は。

答 事業への補助金で、戸数割りが221万1800円。平等割が、20万の合計242万1800円です。

問 借り入れて三保谷小学校と八ッ保小学校改造事業費の利率の違いは。

答 償還年数と償還額の違いによるものです。

問 麦の作付面積が激減しているがその理由と代替作物の検討は。

答 平成22年度の麦価格がかなり安かったのと、連作障害や早期による水田の作付が原因で麦作に支



青パトの巡回防犯啓発活動

障が生じています。団地化が理想で、土地を集約し、水稲以外の作物の大規模化を推進する必要があります。

●平成23年度川島町水道事業会計決算認定について

問 不納欠損金の処理は。

答 権利放棄の必要なものを明確に判断し、その時期、手続きを考えていきたいと考えています。

小学校体育館の天井材・照明器具等を耐震化

●平成24年度川島町一般会計補正予算（第2号）

問 養護老人ホームへ入所者費用徴収金更正減の内容は。

答 熊谷市の養護老人ホームへ1名入所しています。今回、特別養護老人ホームに入所しましたので、今後は介護保険の費用負担になります。

問 子どものための手当から児童手当になって、どんな形で処理す



耐震化を図る小学校体育館

るか。

答 現在の支給金額は1万円と1万5000円で2月、6月、10月に国庫補助と町負担で支給しています。

問 小学校体育館非構造部材耐震化工事は、どのような工事か。

答 構造部分だけでなく、天井材・照明器具等の非構造部分について耐震化を図るものです。工事は来年度の夏休み期間中にする予定です。

問 体育館と限定されているが、小中学校の教室や特別教室は。

答 工事費が概算で1億を超えており、まずは避難所である体育館から始めます。

問 町民会館の段差の工事の内容は。

答 客席から舞台に向かっておりていくと最後の段差が25cmを超えているので、踏み台を設置するものです。

問 LEDの防犯灯が安く契約で

きたことで基数をどの程度増やすのか。

答 単価が予算より下回っており予算の範囲内で相当数増やせます。

●平成23年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について

問 乾燥汚泥については経費がかかるのでつくりたくないのか。

答 放射性物質を測定したところ、販売できる値まで下がらないので販売を中止しました。

問 保育園の人数の詳細は。

答 さくら保育園97人、けやき保育園91人、管外委託10人です。一時保育は延べ578人、管外受託が22人です。

問 し尿処理場の役割は減っているのか。

答 し尿の収集量は若干少なくなっており、少なくなっているのは生し尿だけで浄化槽汚泥は変わられません。

問 保護司が町や民生委員に事業の協力を依頼することはあるか。



川島町し尿処理場

答 直接の関係はありません。職務は刑法犯罪者等の厚生を支援する仕事であります。

問 公立・私立幼稚園への就園奨励費補助金の内訳は。

答 私立幼稚園については国庫補助分が147人で1499万8800円、町単独補助1万5000円で33人、49万5000円です。公立幼稚園については、国庫補助分が6人で16万5000円、合計で186人に対して1565万8000円の支出となっています。

町の考えを問う

町政一般質問要旨

9月18日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

<p>栗岩 輝治 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共工事の発注方法について ・町道1―21号線の道路工作物について 	<p>飯野 徹也 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道川越栗橋線の歩道整備について ・総合振興計画リーディングプロジェクトについて 	<p>新井 悦子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クールシェアについて ・障がい者指定特定相談事業所について ・いじめ問題について 	<p>道祖土 証 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少抑制策と人口減少社会に対応する政策について 	<p>菊地 敏昭 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体クラウド化について ・川と緑の再生について
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------



問 町道(中山、伊草間)ガードレールの整備を危険箇所を優先的に実施予定

答

栗 岩 輝 治

問 町道1―21号線は、国道から町道に認定以来20年が経過しました。ガードレールの整備が必要な時期となつていきます。特に交差点角は、民地との入口に安全カバーが無い状態で危険ですが、整備の予定は。

答 町道なので、管理は町の責任で行います。指摘の危険箇所は優先的に実施していきたいと思つています。

問 国交省からの通達で、防護柵の整備基準が出されており、修繕、洗浄、塗装を行うようになっていきます。町としての実地状況と見解は。

答 道路の点検は、道路パトロールで対応しています。危険と判断した

問 側溝のフタと側溝内のヘドロ除去についての町の見解を伺います。

答 ヘドロの対応は、側溝が深く危険な場所や量が多い場所は、町で実施しています。地域の皆さんの草刈り、川さらいなどに対してのご協力には大変感謝しています。

問 指名競争入札がほとんどである理由は。

答 指名委員会において指定した工事を一般競争入札、総合評価方式で実施しております。

問 電子入札方式の導入予定は。

答 今年度から、試験的に導入を考えております。

問 予定価格と落札価格に差が無い理由は。

答 予定価格が妥当な金額であるため、業者が積算した応札金額と近いということかと思つています。



ガードレールの整備を



狭く防護柵もない歩道

問 県道川越栗橋線の整備について。県道川越栗橋線は、県内中央部を東西に結ぶ幹線道路で、交通量の多い道路です。釘無橋は歩道が狭く防護柵もなく、歩行者や自転車での利用は大変危険な状態です。また通勤時間帯の渋滞は激しく恒常化しています。町内の歩道整備は一部の区間を除いて手付かずの状態です。また沿線にあるバス停の中には、整備がなされず場所が移動、利用者から不満の声が上がっています。町はどのよ

答 プロジェクトにかかわる施策を重要施策として位置づけ、予算化しました。またマンパワーで対応可能なものは必要な事務配分、人員調整などを行い進めています。今年度から本格実施となるので検証と管理を進めていきます。

問 第5次総合振興計画の人口減少対策としてのリーディングプロジェクトの進行状況について伺います。23年度は295人、24年度になって9月1日までに1111人人口減少しています。計画策定から1年間プロジェクトはいかに進捗してきたのか、具体的な施策はいかに進んだのか伺います。

答 釘無橋を含む歩道の整備は東松山県土整備事務所に機会あることに要望しています。渋滞の改善についても県土整備事務所に要望していきます。バス停については、バス事業道路管理者と協議を進め、利用者の環境改善を働きかけていきます。

飯野徹也

問 県道川越栗橋線の歩道整備の取組みは早期完成を要望していきます



問 いじめ問題について

答 早期発見・早期解決に取り組んでいきます

新井悦子

問 いじめは大きな社会問題になっています。暴力を伴うものから、小さいな行為のものまで、どの子どもも被害者にも加害者にもなり得ます。町でのいじめの把握や教職員の取組み、相談体制はどのようになっているのか伺います。

答 今年度は1件の事案があり校長を中心に事態の改善に努め、解決しました。問題行動の指導では対応マニュアルを作成し、全職員の共通理解を図っています。教育相談室やさわやか相談室の設置の他、県での相談機関等さまざまな方法で相談体制を整えています。今後もいじめの早

問 障がい者指定特定相談事業所をウイングに委託できないか伺います。

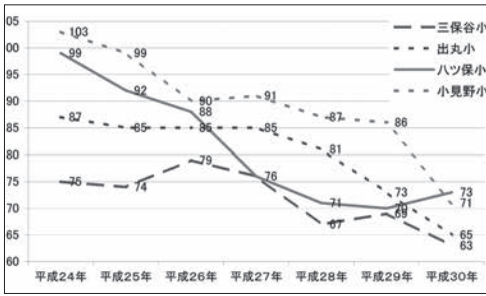
答 事業所の所在市町村に指定を受ける必要があります。相談支援と地域活動支援センター事業は7町村で東松山市と協定を結び委託をしています。福祉問題を協議する比企地区の厚生事務研究会にて協議し、検討します。

問 夏の暑い日に節電効果の取り組みにもなるクールシェアについて伺います。

答 かわべえのツイッターにもクールシェアのつぶやきをさせていただきました。町の活性化を図るうえでも町施設だけでなく、町内企業とも連携し、実施できるよう検討します。



ワーク&ライクのびっこ



三保谷・出丸・八ツ保・小見野各小学校の児童予測数

問 どのような人口減少抑制策を考えているのか。

答 第5次川島町総合振興計画に基づき、減り続ける人口問題を行政課題として定住促進プロジェクト、交流転入促進プロジェクト、生活基盤充実プロジェクトの3つを設定し推進しております。

問 平成24年4月2日現在の0歳児の児童数は中山地区38人、伊草地区48人、三保谷地区4人、出丸・八ツ保地区各12人、小見野地区6人の合計です。



問 人口減少抑制策の考えは

答 第5次川島町総合振興計画に基づき推進しています

道祖土証

問 計120人で、三保谷・出丸・八ツ保・小見野地区合わせても34人です。将来を考えて小学校の統廃合は検討しているのか。

答 各地域の文化活動拠点や災害時の避難所等にもなっているため、時間をかけて総合的かつ計画的に検討していかなくてはいけないと考えています。

問 中学校は生徒数の減少により部活動の種目が減り、生徒の希望するスポーツや文化活動ができません。そこで、川中・西中の合同練習や合同チームの検討をしていただけないか。

答 中学校の部活の問題は前々から危惧していましたので、教育委員会と共に検討させていただきます。

問 公共施設の耐震診断の結果を踏まえ、どのように整備していくのか。

答 来年度に公共施設の整備計画を立てて検討していきます。

用排水路の今後の改修と維持管理は機能に合わせた整備を計画していきたい



問

答

菊地敏昭

問 埼玉県23町村では、同一の行政コンピュータシステムの共同運用を図る自治体クラウド化に取り組むことに協議会を設立したとのことですが、導入によりどう変わるのか。

答 町村の個別の情報管理を一元化することでコストの削減、住民サービスの向上につながります。各自治体が個別に庁舎内にサーバーを設置し、各情報システムを業者に委託して構築しています。それを共同化し、「割り勘」にすることでシステム経費を低減します。

問 導入の予定時期は。

答 平成25年下期〜27年上期です。



用水路（分水）

問 基幹系システムの効果は。

答 住民基本台帳や課税台帳など重要なデータをデータセンターに置くことにより、高いセキュリティが確保できます。

問 サーバーの故障対策経費削減は。

答 共同利用開始後は町独自対策の必要が少なくなると考えます。概算費用の結果比較で、36〜40%の削減効果が期待できるとの調査結果です。

問 町民カードの切換え状況は。

答 広報やチラシ等でお願ひしていきます。

問 町の用排水路の今後の改修と維持管理について、長楽、中山、出丸専用排水路の見通しを伺います。

答 1分水「中伊川」は市街化区域内を多く流れているので、排水機能を重視した整備計画、2分水、3分水は用排水用の機能に合わせた整備計画を検討していきます。

総務経済建設常任委員会 所管事務調査

①調査期間 平成24年7月5日(木)～6日(金)

②視察先 千葉県芝山町、鋸南町

③視察課題 (1) 環境に配慮した農業生産について(芝山町)

(2) 定住促進を目標とした人口交流事業について(鋸南町)

芝山町は成田国際空港に隣接するという地の利を生かし、農業、空港、観光を町の発展の3本の矢として位置づけております。

基幹産業は農業で、平成20年に「エコファーマー」に認定された花キ栽培は50人の生産者により、「面積は21ha、「サンダーソニア」の周年栽培を中心として販売高は9億円までに成長し、共選共売で全国80社の花市場に販売しているとの事です。また、平成5年に「日本の米作り百選」に指定された白舩地区は、水田面積40ha、特別栽培米をスタートさせ、組合員8名は14年に「しらますKOM E倶楽部」を設立。コシヒカリ一等米、有機肥料栽培、自然乾燥方式のライスセンター、色彩選別機による精米等によるブランド米としての有利販売、毎月の宅配出荷と、3カ月に1

回の地元農産物のプレゼント送付を指針としています。

当川島町でもすでに取り組んでいる分野もありますが、更なる販売ルート開拓や、安全安心なる生産についての研究が大切であると感じられました。

鋸南町は、千葉県南房総に位置し、その昔、源頼朝が竜島海岸に上陸、再起を計った歴史にちなみ、桜に頼朝桜の愛称をつけ、この桜の植樹を通して人口交流を実施しています。

実際に植樹された佐久間ダム周辺の美しい景観の創造と維持管理のほとんどが住民のボランティアによるものとの事です。

この計画は平成13年度から計2万本の桜を植樹するもので、町民自身による植栽、管理を実施、現在1万4千本の植栽が終了。「頼朝桜の会

なる住民組織もでき、この植栽事業を「町ぐるみ重点プロジェクト」に指定し、人口交流、人口定住促進事業として位置づけられました。

昨年度の観光人口実績として18万2千人の方が来町したとのことです。この他、水仙は日本三大生産地であり、年間800万本を出荷、食用菜花の出荷量は全国一であります。

町づくりの重点は「無いものねだりではなく、在るもの探し」とのことです。草花の植栽による景観整備も進められています。

川島町についても農商工の連携や、遊休農地の活用、町外の方との積極的な交流事業の推進による人口定住の必要性が感じられました。



芝山町での研修

比企広域市町村圏組合議会

小高 春雄
佐藤 芳男

8月20日に開かれた定例会の主な議案を報告いたします。

23年度決算の繰越金が確定した為、平成24年度予算を補正致しました。

比企広域市町村圏組合一般会計は総額8637万7千円に補正致しました。

比企広域斎場及び霊きゆう自動車事業特別会計予算は、総額1億1991万9千円に補正致しました。

比企広域介護認定及び障害程度区分審査会特別会計は、総額8610万6千円に補正致しました。

平成23年度決算を承認致しました。比企広域一般会計は歳入1億342万9千円、歳出9007万2千円を承認致しました。

比企広域斎場及び霊きゆう自動車事業特別会計決算は、歳入1億3401万円、歳出1億1773万円を承認致しました。

比企広域介護認定及び障害程度区分審査会特別会計決算は、歳入8835万5千円、歳出7603万7千円を承認致しました。(佐藤)

文教厚生常任委員会

所管事務調査

① 調査期間 平成24年7月12日(木)～13日(金)

② 視察地 宮城県仙台市、柴田町

③ 視察課題 (1) 災害廃棄物受け入れ処理の実態について(仙台市)

(2) 障害者グループホームの運営について(柴田町)

仙台市は、宮城県の県庁所在地及び政令指定都市であり、人口約102万人の東北地方最大都市です。

面積の小さい宮城県において仙台市の特徴は、建築環境の良い仙台平野に県民の大半が居住するため、県内の人口占有率が45%を超えており、大学や専門学校が多いため若年者人口の割合が高いことです。

地震及び高さ7・5mの津波により発生した災害廃棄物の発生量を約135万tと推計し、この膨大な廃棄物に対して、地元企業の活用による地域経済の復興も念頭に、最終処分まで自らの地域内で処理を完結する仕組みを構築することとし、震災から1年以内の撤去、近隣市町の受け入れを含めて3年以内での処理完了を目指し取り組みを進めています。災害廃棄物の早期の処理及び安定化

等の観点から、東部沿岸地内に3ヶ所、蒲生、荒浜、井土に合計で約100haの敷地を確保し、各場内には、仮設の破砕処理施設及び焼却処理施設が設置されておりました。この内、1日90tの処理能力を有する井土搬入場を視察しました。現地で工夫している点は、搬入場では10種類以上に細かく分別が行われており、仙台市の発生量の50%のリサイクルを指していることです。アスベスト含有廃棄物は、密封保管等処理基準を遵守しています。

今後の津波対策として、側道を新たに盛土計画し、この盛土される堤防の材料に震災で発生した土砂を使用予定です。川島町も災害廃棄物の受け入れ事態のときは、分別搬出及び近隣市町村の応援体制の構築が重要であると痛感しました。

次に柴田町ですが、仙台市から南へ約25kmに位置しています。グループホームとは、地域において共同生活を営むのに支障のない障がい者、または障がい福祉サービスにおける日中活動を利用している障がい者が、主として夜間に共同生活を営む住居で行う支援のことです。現地視察したグループホームは病院が隣接支援しているため夜間、休日とも安心であるとのことでした。

グループホームの利点は、地域の住宅街にある普通の民家であるため、外観的にも近所との調和がとれており、利用者は6人が入居しております。また障がい者と健常者が地域で一緒に生きる当たり前の生活概念を持つことだと強く思いました。



柴田町のグループホーム

川越地区消防組合議会

森田 敏男
道祖土 証
為水 順二

第2回臨時会会議は、6月26日に開かれました。

① 消防ポンプ自動車取得について

② 高規格救急自動車取得について

③ 高度救命処置機材の取得について

以上の3点が審議されました。

消防ポンプ自動車の価額は消費税等を含み、3785万2500円で決定いたしました。なお、消防ポンプ自動車につきましては、川越中央署に配備されます。高規格救急自動車は、南古谷分署、大東分署、名細分署に配備されるものです。3台で消費税等を含み4983万3000円で決定いたしました。

高度救命処置機材は、南古谷分署、名細分署、大東分署に配備される高規格救急自動車3台に搭載する資機材で、自動体外式除細動器、心電計、人口呼吸器、ビデオ喉頭鏡など、高度救命処置に用いる資機材3台分で、消費税等を含み3112万2000円で決定しました。(森田)

議会運営委員会所管事務調査

議会運営委員会では、調査研究事項として所管事務調査を左記の日程で実施しました。

調査事項 議会活性化について
調査方法 現地調査
調査日程 平成24年11月7日・8日
調査場所 神奈川県大磯町
 神奈川県湯河原町

*詳しい視察報告については次号(第99号)で報告いたします。



議会を傍聴しませんか?

・誰でも議会を傍聴することができます。
 ・議会定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。

※詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

12月の定例会

12月5日(水)

開催予定です。

表紙解説

11月3日町民会館で町政施行40周年記念式典が開催されました。

地方自治、教育文化、スポーツ、社会福祉等様々な分野で、川島町に貢献された方々、団体が表彰されました。

写真は、かわべえの孫娘の新マスコットキャラクター「かわみん」の命名式とお披露目の風景です。40年前の豊かな農村から、ここ数年、圏央道川島インターチェンジの開通により、「自然と産業の調和のとれたまちづくり」が始まりました。

「住む人に快適を、訪れる人に活力を、笑顔で人がつながる町かわじま」を目標に努力をしています。

(写真・文章/佐藤)

編集後記

町制施行40周年式典が11月3日、町民会館にて盛大に挙行されました。伊草、飯島、白井沼、角泉の伝統芸能が、晴舞台の出しものでした。子どももの頃地元で見た光景と、笛、太鼓の音色に感動しました。

川島町の良き伝統文化を引継ぎ、明日の川島町の発展にと 생각합니다。今年の異常な夏の暑さも、秋分を境に変わり、実りの秋を迎え庭先の柿も色づき、コスモスの花も目を楽ませてきています。川島町の木「もくせい」も独特の香りを放ち、安らぎを与えてくれていた様です。

9月議会の様子を議会だよりでお伝えします。町民の皆様方のご理解、ご支援を頂きながら、町の発展の為に議会も努力してまいります。

(菊地)

議会だより編集委員会

委員長	石川 征郎
副委員長	佐藤 芳男
委員	菊地 敏昭
委員	飯野 徹也
委員	栗岩 輝治
委員	新井 悦子
委員	小高 春雄
相談役	

議会日誌

8月

- 20日 総務経済建設常任委員会協議会
- 29日 議会運営委員会
- ” 議会全員協議会

9月

- 2日 防災訓練
- 5日~19日 9月定例会
- 5日 議会運営委員会
- 18日 議会運営委員会
- 19日 議会全員協議会

10月

- 7日 第44回町民体育祭
- 12日 埼玉県町村議会議員研修会
- 17日 総務経済建設常任委員会協議会
- 18日 議会報編集委員会
- 22日 京都府久御山町議会視察受け入れ

11月

- 3日 町制施行40周年記念式典
- 6日 議会報編集委員会
- 7日~8日 議会運営委員会所管事務調査